

リオデジャネイロオリンピック銀メダリスト・桐生祥秀選手が語る 『世界に挑む原動力 ～挑戦の楽しみ方～』

～菅谷中学校、玉ノ岡中学校、大妻嵐山中学校の生徒 339 名を対象に特別授業を開催～

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：齋藤 斉、以下「太陽ホールディングス」)は、11 月 27 日（木）に陸上競技銀メダリスト・桐生祥秀選手（以下「桐生選手」）を講師に招き、国立女性教育会館（埼玉県比企郡）にて、菅谷中学校、玉ノ岡中学校、大妻嵐山中学校の生徒を対象として特別授業『世界に挑む原動力 ～挑戦の楽しみ方～』を開催しました。



〈桐生祥秀選手と生徒たちの記念撮影の様子〉

太陽ホールディングスは、「夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現すること」を目指し、日々挑戦を続けています。そのうえで「これから活躍する 10 代の若者に向けて、挑戦を楽しむことの大切さを伝えたい」という思いから、学生の学ぶ機会創出にも積極的に取り組んでいます。これまで、太陽ホールディングスグループが国内主要拠点を置く地域の小中学生を対象に、世界で活躍するアスリートを招いた特別授業を実施してきました。

この活動の一環として、この度埼玉県比企郡嵐山町の菅谷中学校、玉ノ岡中学校、大妻嵐山中学校の生徒を対象に特別授業を実施しました。

特別授業では、嵐山町長 佐久間孝光氏のご挨拶の後、桐生選手が登場、たくさんの歓声を受けながらステージに上がりました。講演では、中学生のころの夢を振り返り「3 年生の時には陸上選手になって、オリンピックに出場したいと思っていました」と話し、「自分が楽しいことや好きなことが夢につながります」と夢を見つける方法を生徒へ伝えました。

後半は生徒たちからの質問に桐生選手が回答。生徒からの「努力してもかなわなかった時、燃え尽きそうになった時、どうしていますか」という質問に、「目標が一つだけだと達成したときに燃え尽きてしまう。たくさんの目標や夢を書き出して、それに向かって努力を続けています」と答えました。特別授業の最後には、生徒から「世界で活躍する桐生選手をこれからも応援しています」と感謝の言葉が贈られ、桐生選手は「これから、いろいろなことに挑戦してみてください」と生徒たちへエールを送りました。

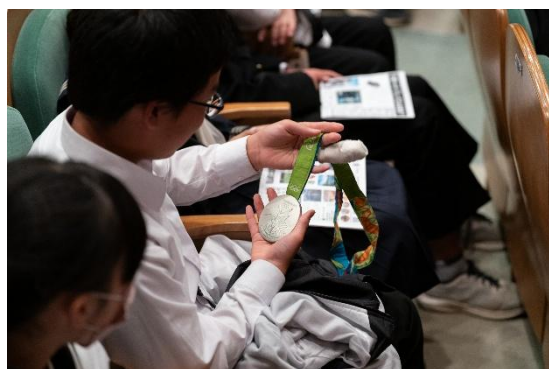
生徒たちにとって、あきらめない気持ちや挑戦を楽しむことの大切さなどを、世界を舞台に活躍するアスリートから学ぶ貴重な時間となりました。



〈生徒から花束を受け取る桐生選手〉



〈桐生選手に質問する生徒〉



〈銀メダルを手に取る生徒〉



〈銀メダルを紹介する桐生選手〉



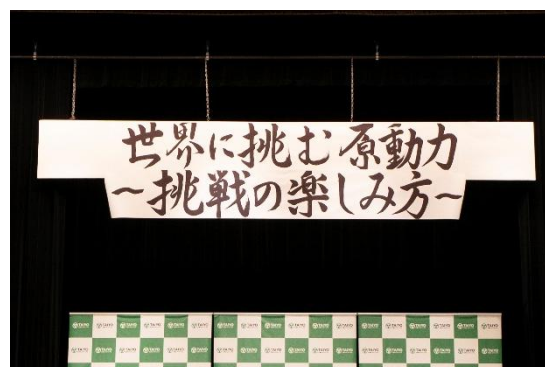
〈挑戦の楽しみ方を語る桐生選手〉



〈挑戦の楽しみ方を語る桐生選手〉



〈生徒が制作した看板〉



〈生徒が制作した看板〉

〈講師 プロフィール〉



桐生祥秀（陸上選手）

滋賀県彦根市出身。1995 年 12 月 15 日生まれ。
日本生命所属。

中学校で陸上競技を始め、高校 3 年時には 10 秒 01 の当時の高校記録・ジュニア日本記録を樹立。東洋大学進学後は各大会で活躍し、2016 年リオデジャネイロオリンピック 4×100m リレーで銀メダルを獲得。翌年 9 月の日本学生対校選手権 100m 決勝にて、日本選手初の 9 秒台となる 9 秒 98 を樹立。2019 年アジア選手権 100m では金メダルを獲得し、同年の世界選手権 4×100m リレーではアジア新記録を樹立し銅メダルを獲得。2025 年 7 月に行われた日本陸上選手権 100m では 5 年ぶり 3 度目の優勝を果たし、8 月に行われた富士北麓ワールドトライアルでは 8 年振りの 9 秒台となる 9 秒 99 を樹立。

関連情報

特別授業の企画運営にあたっては、今年 2 月から 3 月にかけて特設 EC とイベントで販売した、『ストリートファイター6』とのコラボグッズの売上金を活用しています。

▼参考リリースはコチラ

URL : https://www.taiyo-hd.co.jp/lp/brand/assets/pdf/20250207_01.pdf

■開催概要 特別授業『世界に挑む原動力 ～挑戦の楽しみ方～』

主催：太陽ホールディングス株式会社

会場：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地）

対象：菅谷中学校、玉ノ岡中学校、大妻嵐山中学校生徒（計 339 名）

講師：リオデジャネイロオリンピック銀メダリスト・桐生祥秀選手

当日の進行

- ・嵐山町 佐久間孝光町長 開会ご挨拶
- ・太陽ホールディングス 執行役員 Chief Branding Officer 吉野由季子 開会挨拶
- ・陸上銀メダリスト・桐生祥秀選手 講演（司会者とのトーク形式）
- ・生徒との Q&A セッション
- ・記念撮影
- ・嵐山町 下村治教育長 閉会ご挨拶